

長崎の林業

小曾根星堂書



竹人形（古民家風体験工房のだけ村）

9

目次

● 林政だより	夏後半からも災害に要注意！！ ～梅雨が明けても油断は禁物～	2～3
● 特集記事	昔の暮らしを今に伝える 大村市 古民家風体験工房のだけ村	4～5
● 林業普及だより	五島市における森林経営管理制度のとりくみ	6
● 地方だより・県央	地域に根ざした豊かな森林づくり ～高来町山林協議会の取組～	7
● 地方だより・対馬	祝！！ 第33回特用林産功労者賞 受賞！	8
● 林業団体情報	ふるさとの森フェスタ with 九電プレイフォレスト開催！ ～長崎県民の森～	9
● センターだより	シマハランの青葉化対策	10
● 紹介コーナー	Le genet. (ル・ジェネ)	11
● 長崎の山：風観岳236.2m（諫早市）		12



2020
No.780

木づかい推進で地球温暖化を防止しよう！

ご自由にお持ち下さい。

FREE

「長崎の林業」は、ながさき森林環境税により発行しています。
「長崎県庁」のホームページ「広報」→「県の発行物」からもご覧いただけます。

林政だより

夏後半からも災害に要注意！！
～梅雨が明けても油断は禁物～



→
生月大橋

しゅうしちょうしらいし
長崎県平戸市主師町白石で発生した県道平戸生月線付近の山腹崩壊（令和2年7月24日発生）

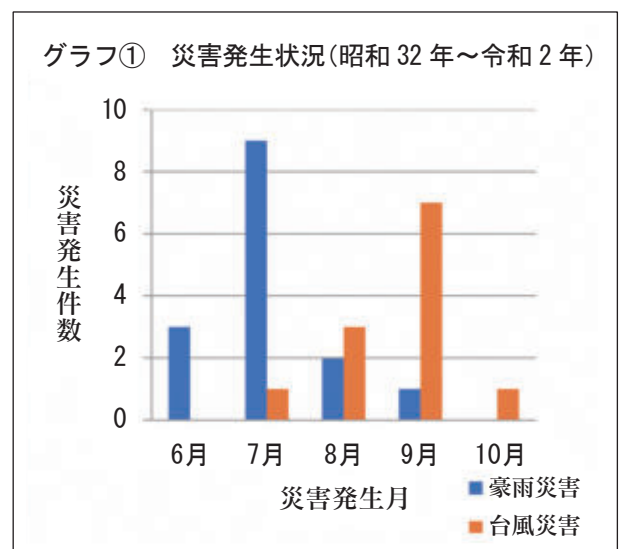
9月前後の台風には要注意！

近年、豪雨による災害が全国各地で発生しています。今年は長崎県内でも、7月6日から7月7日にかけて大雨特別警報が発表され、林地や林道に関連するものでは、7月に約24億円の被害が発生しました^{※1}。夏も後半に差し掛かっていますが、今後も大雨による災害には細心の注意が必要です。

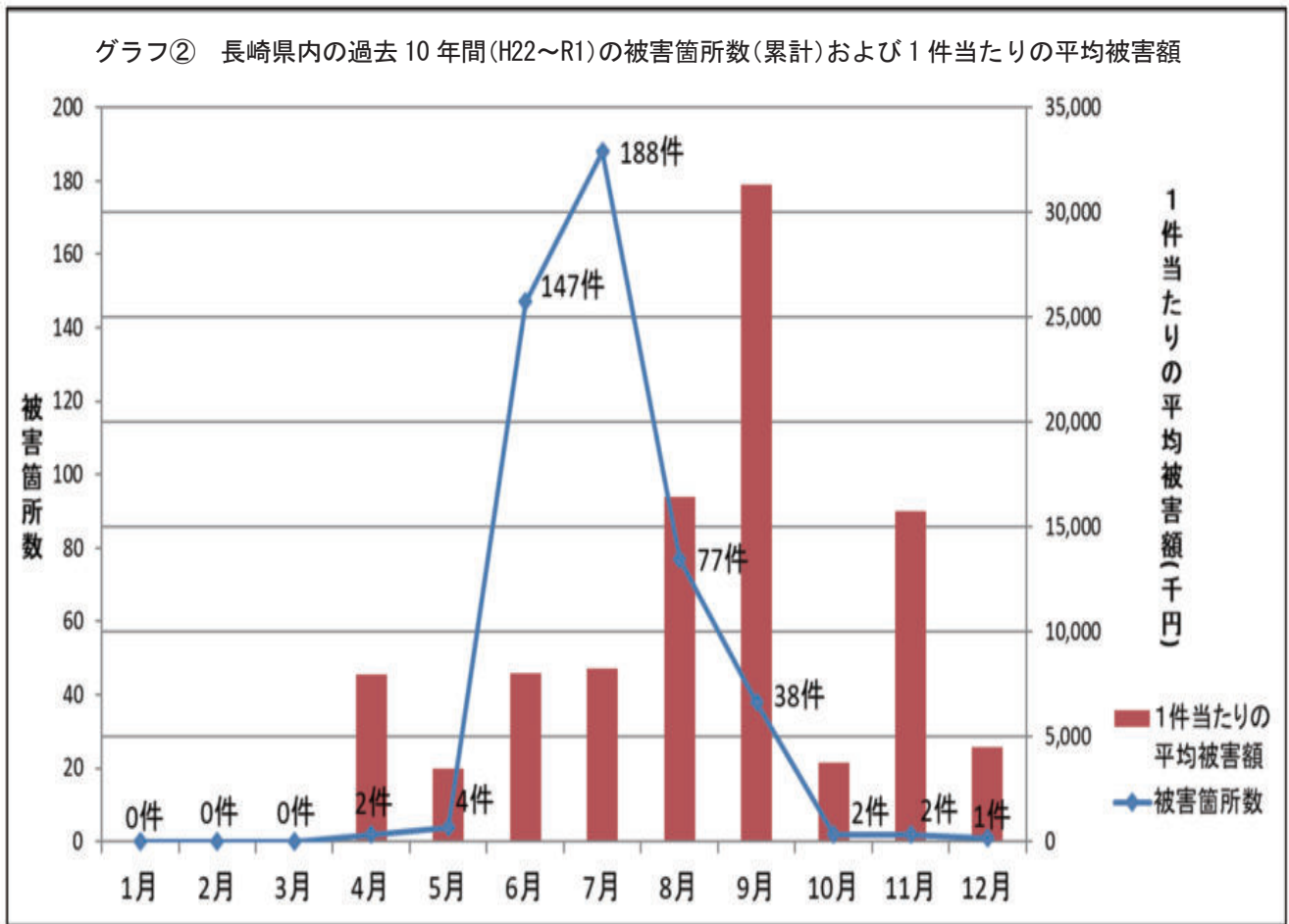
特に9月以降については、台風の発生や秋雨前線の影響により豪雨が発生しやすく、災害をもたらす可能性があります。身の危険を感じた際、すばやく避難が行えるよう日頃からの準備が重要です。また避難が遅れ、外に出るのが危険な場合に備え、家の中でも安全な箇所を事前に確認しておくことも大切です。

^{※1} 令和2年8月26日時点の被害概算額

長崎県の災害状況は？



長崎県では、毎年被害箇所数に差はあるものの、県内各地で山地災害が発生しています。上記のグラフ①は長崎地方気象台のデータ



を基に過去に長崎県で起きた災害を発生月数にまとめたものです。9月以降は豪雨だけでなく、台風被害が多いことが分かります。

また、グラフ②は過去10年間の山地災害発生データをまとめたものです。例年6月、7月が最も多く災害が発生していますが、1件当たりの平均被害額で見ると、8月、9月、11月の災害は被害額が大きい傾向にあります。つまり、頻度は少ないものの災害が発生した際は、被害が甚大になる危険性が高く、より注意が必要になるということです。

や避難所などがまとめてご覧になれます。万が一に備えて、お近くの避難所を確認されてみてはどうでしょうか。

また、災害が発生した場合は、速やかに「110番」か「119番」に通報してください。

長崎県では森林内で発生した土砂崩れなどの箇所や今後発生する危険性の高い箇所において「治山事業」による、復旧・予防工事を行っています。山間部で危ない箇所などをお気づきになった場合には、お近くの振興局へご連絡をお願いします。

防災意識を常に持つことが大切！！

例年9月以降も台風に伴う暴風や豪雨などにより全国各地で災害が発生しています。ラジオやテレビ、インターネットなどで情報を事前に集めることは、災害による被害を最小限に抑える手段のひとつです。

なお、長崎県の長崎県総合防災ポータル(<http://www.pref.nagasaki.jp/sb/>)の中にある、長崎県総合GISでは山地災害危険地区

【ご連絡先一覧】

県央振興局森林土木課	0957-22-0201
県北振興局森林土木課	0956-23-2710
島原振興局林務課	0957-63-5073
五島振興局林務課	0959-72-2094
壱岐振興局農林整備課	0920-48-5211
対馬振興局森林土木課	0920-52-5474

(森林整備室 治山班)

【特集記事】

昔の暮らしを今に伝える



大村市 古民家風体験工房のだけ村

古民家風体験工房のだけ村 代表 野口敏幸さん

水と緑豊かな大村市野岳地区

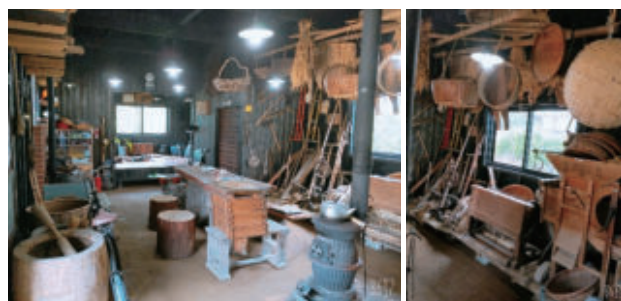
県央地区多良山系最西端に位置する郡岳^{こおり}。標高 826mの比較的登りやすい3つの登山コースを有する緑豊かなこの山の中腹には、人造湖として知られる「野岳湖」があります。

この湖は、多良岳県立自然公園の中に作られた灌漑用ため池で、「野岳ため池」の名称で農林水産省の「ため池百選」に選定されており、周辺地区の農業用水として現在も大きな役割を果たしています。また、周囲4km程の湖畔にはキャンプ場やサイクリングコース、水辺の広場、四季の移ろいを感じる遊歩道などが整備され、週末には多くの家族連れで賑わいます。この自然あふれる野岳湖のすぐそばに、どこか懐かしい雰囲気を感じる「古民家風体験工房のだけ村」があります。アイデア溢れるこの施設の代表の野口敏幸さんに話を伺いました。

古き良き日本の暮らしを伝えたい

野口さんの実家は地元で代々続く米農家。子どもの頃はよく家の手伝いをし、米作りにも積極的に関わって育ったそうです。しかし家業は継がず、建材卸業で経理

や総務の仕事に携わられてきた野口さんがずっと気になっていたのが、長年実家の納屋に眠ったままになっていた農機具。昭和20～30年代の生活用具や農機具など、野口さんの家で実際に使用していた道具100点余りが、当時のままの状態が残っていました。それらを何とか有効活用したいと、定年後に一念発起し立ち上げたのが「古民家風体験工房のだけ村」です。昔の暮らしや知恵を、子ども達だけでなく、世代を超えて伝えたいと平成28年7月に自身の地元である野岳湖畔に工房をオープンさせました。



(左) 工房内に並ぶ昔の生活用具

(右) 野口さんの実家に眠っていた農機具

木を使う生活体験

昔の民家が忠実に再現された工房には、土間や竈^{かまど}、囲炉裏などもあり、来館者自ら、

薪を割り火を起こしてお米を炊いたり、囲炉裏で料理ができます。昔は当たり前だった「木を使う暮らし」を体感することが出来るのです。また夏の時期限定、山から切ってきた竹を使った流しそうめん体験も大人気。冬は竈で炊いたもち米を臼で搗いて餅作り、その後は薪ストーブで焼いて食べます。同じく薪ストーブでじっくり焼き上げた焼き芋は格別だそうです。



(左) 竈に薪を焚べる参加者
(右) 竹を組み流しそうめんの準備をする

竹細工で伝える田舎の暮らし

定年後、野口さんは竹細工職人を父につづ知人を訪ね、工房に展示する竹かご作りを学びます。しかし展示するだけでは、来館者を楽しませることは出来ないという悩み、学んだ竹細工の技で何か出来ること出来ないか模索しました。そこで思いついたのが竹人形です。野口さんが子供の頃は、米作りの工程はもちろん全て手作業でした。その農作業のひとつひとつを竹で作った人形で表現し、当時の暮らしを皆に伝えたいと考えたのです。



(左) 野口さん自慢の竹人形たち
(右) どの作品も愛嬌があり表情豊か

昔、両親が汗を流していた農作業の記憶

をたどり、その動作を自身で再現し、腰や手足、関節一つ一つの曲がり方を研究しました。手伝った田んぼの風景を思い出しながら、全て設計図なしで農機具など小物まで再現したのです。人形は1体作るのに数時間、農機具などの細かいパーツを組み合わせるものは丸1日かけて作ったそうです。

仲間と創り広げる交流の場

現在、「のだけ村」で一緒に活動しているメンバーは15名。野口さんの想いを理解し賛同した講師の方々です。それぞれに教室を持っていますが、空いた時間を利用してワークショップや体験教室を開催。竹細工の仲間は他に3名おり、時間のある時には工房に寄り、次に来るお客さんのための準備や新しい作品作りに勤しんでいます。



(左) 空き時間を利用して仲間と共に作業をする
(右) お手製竹細工キットのパーツの数々

教える側も教わる側も楽しめる場に

「のだけ村」では小さなお子さんでも楽しめるようにと、手作りパーツの簡単な竹細工キットを用意しています。大人も子供も小刀を使い、思い思いのおもちゃを作り、時間をかけて作った作品で世代を超えて一緒に楽しんでほしいと野口さんは話します。新しく便利なモノが良いとされる現代の暮らしの合間に、昔から大切にされてきた自然に優しい丁寧な暮らしに触れてほしいそう。古き良き日本の暮らしを次世代に継承したいという野口さんの想いの詰まった「のだけ村」は、教える側も教わる側も一緒に楽しみながら喜びを分かち合う「心を育てる場」であると感じました。

(NPO 法人地域循環研究所)

五島市における森林経営管理制度のとりくみ



富江町田尾地区説明会

これまでの取組

五島市では森林経営管理制度に基づき、令和元年度から富江町田尾地区をモデル地区に設定して、意向調査及び森林調査を実施しています。

この制度は、森林経営管理法により「森林所有者は森林管理を行うこと」が義務化されたことに対し、森林所有者自ら森林管理を行うことができない森林を市町に預け、林業経営に適さない森林については市町が自ら管理し、林業経営に適した森林については林業経営者へ経営管理を委託するものです。

今回は、林業経営に適さない森林について、五島市が経営管理するために実施している調査状況と問題点及び課題についてご紹介いたします。

意向調査と森林調査

島内で唯一、「地域林政アドバイザー」として県に登録している「フォレストワーク五島」へ意向調査及び森林調査を委託実施したところ、田尾地区 160.75 ㊦の区域 125 名へ意向調査票を発送し、回答 46 名、未回答 36 名、宛先不明 43 名で回答率は 36.8%でした。

また、回答いただいた 46 名 68.67 ㊦のうち、「市へ管理委託を検討」は 31 名 45.12 ㊦の面積割合で 65.70%になりました。

なお、「自分で経営・管理する」と回答された方以外の 66.48 ㊦で森林調査を行い、経営管理対象となる人工林面積は 45.67 ㊦で調査対象森林面積に対する人工林割合は 68.6%でした。

問題点及び課題

問題点としては、森林調査で地籍図を基に森林の地番等を整理した「林地台帳」と、森林の位置や資源量を管理している「森林計画図」を対比しながら森林の範囲を調査しましたが、双方の情報が一致しない箇所がほとんどであったことです。非効率ですが現地状況を箇所毎に再確認する必要性がありました。

また、地区説明会参加者等から未回答者情報を収集し、親族、遠戚の方々の協力を得なければ、回答率を高めることができないことも今後の課題です。

今後の取組

調査によって得られた情報により、令和 2 年度は具体的な経営管理方法を公表する経営管理権集積計画が作成されます。

しかし、具体的管理方法としての間伐実施方法の詳細や効率的な森林資源情報の収集方法をどのように整備するかが次の課題です。

今後も五島振興局担当職員や普及員が技術支援を行い、県内他市町とも情報交換等で協力し、県の ICT 技術情報等も活用しながら制度の推進を図る予定です。



松浦市との情報、意見交換

(五島振興局林務課林業班)

地方だより

地域に根ざした豊かな森林づくり ～高来町山林協議会の取組～



ツクシシャクナゲの花と植樹の様子

高来町山林協議会について

当協議会の活動は、平成18年に里山保全や森林環境教育などのボランティア活動から始まりました。その後グリーン・ツーリズム活動や、諫早市のシンボルであるツクシシャクナゲの植樹活動など、豊かな地域資源を活用した活動を行っています。平成28年からは、林地残材を地域通貨で買い取り、燃料用木材として有効利用する「木の駅プロジェクト」に県内で初めて取り組んでいます。このような、地域の自然を生かした取組を行う当協議会の活動についてご紹介します。

ツクシシャクナゲの保全活動

国の天然記念物でもあるツクシシャクナゲは、多良岳の山奥に自生するため人目に触れる場所が限られていました。そこで、ツクシシャクナゲをより身近に親しんでもらうために、平成24年から、しゃくなげ高原で植樹祭を開催しています。これまでに累計2,650本が植栽されました。そして、ツクシシャクナゲの花が作り出す美しい景観を多くの人に楽しんでもらうために、平成27年からツクシシャクナゲ祭を開催し、多くの観光客を呼び込むことで、地域活性化を図っています。

「木の駅たかき」プロジェクト

当プロジェクトは今年で5年目を迎え、順調に実績を上げています。令和元年度は目標の200tを上回る239tの木材が出荷され、約123万円分の地域通貨券（もり券）が発行されました。



活動状況

年度	集荷量(t)	地域通貨換金額(円)
平成28年	136.60	652,000
平成29年	301.68	1,570,500
平成30年	150.75	791,500
令和元年	238.52	1,232,500
全体	827.55	4,246,500

平成28年度から令和元年度までの活動実績

今後も、豊かな森林づくりをとおして地域の振興に貢献されている当協議会の活動を支援していきます。

(県央振興局 林業課)

地方だより

祝!! 第33回特用林産功労者賞 受賞!



受賞記念写真(左から、対馬振興局 森川農林水産部長、渡辺局長、扇次男さん、対馬市 佐々木農林水産部長)

第33回特用林産功労者賞(主催:全国特用林産振興会)に、対馬市上対馬町小鹿で林業経営をされている扇次男さんが選ばれ、6月8日(月)に対馬振興局で表彰状及び記念品が伝達されました。

特用林産功労者賞は、きのこ類、木質系燃料、特用樹等の栽培・加工・経営の分野で、優れた功績があり、現在も活躍されている個人に対し、日本特用林産振興会長から贈られるものです。令和元年度の受賞者は全国で18名、長崎県では扇さんだけが受賞されました。

扇さんは、昭和44年からしいたけ生産を始めて以来、試行錯誤と技術研鑽を続けられてきました。その結果が今回の受賞につながっています。



扇さんのほだ場

過去には、全農乾椎茸品評会において、林野庁長官賞を受賞するなど、幾度も入賞を果

たしており、また、長崎県乾しいたけ品評会においても、農林水産大臣賞2回、林野庁長官賞7回、長崎県知事賞を10回受賞されています。

また、しいたけの他にも対馬市ニホンミツバチ部会の会長としても、精力的に活動されています。



自慢のしいたけを手に思いを語る扇さん

今回の受賞にあたり、「少しでも良いもの、1つでも上位の賞を一人ひとりが目指すことが地域の相乗効果になります。しいたけとハチミツで100歳まで続けられるように頑張っています」と笑顔で語ってくれました。

今年度は新型コロナウイルスの影響により、長崎県乾しいたけ品評会が中止になるなど、異例の状況が続いていますが、今回の受賞は対馬にとって、明るいニュースになりました。



扇さんが生産された原木しいたけ

(対馬振興局 林業課)

林業団体情報

ふるさとの森フェスタ with 九電プレイフォレスト開催！ ～長崎県民の森～



昨年度開催された「ふるさとの森フェスタ」丸太の遊具

「ふるさとの森フェスタ with 九電プレイフォレスト」は県民の皆さんが森林と触れ合い楽しみ学ぶことで、森林を守り育てていくことの大切さや、森林・林業、県産材利用の推進の理解を図ること、また、平成19年度より導入されている「ながさき森林環境税」の周知を目的に令和2年度も長崎県民の森にて開催します。また、九州電力(株)長崎支店は、ふるさとの森フェスタと同時期の毎年10月に「九電プレイフォレスト」を開催しており、今年度は共催での開催となりました。

イベント会場である長崎県民の森は、西彼杵半島の中心に位置し、標高550mに382haの広大な敷地が広がる森林公園で、10月には紅葉が見頃となります。たくさんのご参加お待ちしております。

開催日時・場所

日時：10月25日(日)10時～15時

場所：長崎県民の森(長崎県長崎市神浦北大中尾町693-2)

イベント内容

新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から、県民の森を広域的に利用したウォークラリー形式の森林体験を企画しています。ウォークラリーは難易度を3コースに分け、コース途中には森林体験ブースを設置します。参加者の密集を避けるため、家族単位やグループ単位でコースを散策します。

また、森林館にて「どんぐりの秘密展」の開催や「緑化推進ポスター」の展示も行います。

コース内容

○(初級) 森林で遊ぶコース

対象：小学生低学年とその家族

竹細工・マイ箸づくり体験、ミニカー・松ぼっくりツリーづくり等を予定。

○(中級) 森林学ぶコース

対象：小学生中学年とその家族

丸太切り、ネイチャーゲーム、森林ボランティア体験等を予定。

○(上級) 森林散策コース

対象：小学生高学年とその家族、森林のつどい参加者

森林ボランティア体験を予定。県民の森を余すことなく散策を楽しんでいただきます。

参加申込

九州電力(株)長崎支店での事前申し込みが必要です。詳細が決まり次第、九州電力のホームページでお知らせします。

※当日は新型コロナウイルスの感染防止対策の観点から、飲食店の出展はございません。各自弁当及び飲み物を持参、マスク着用のうえお越し下さい。

※内容は変更になる場合がございます。また、天候や新型コロナウイルスの感染状況によってはイベントが中止となる場合もございます。あらかじめご了承ください。

お問合せ先

長崎県森林ボランティア支援センター

電話：095-895-8655 (佐藤・若松)

(長崎県森林ボランティア支援センター)

シマハランの青葉化対策

ハランとは

ハランは常緑の多年生草本で、生け花やフラワーアレンジメント、料理の下に敷くかいしきとして利用されます。

本県では、40年ほど前から人工林の林床を利用しハランの林間栽培が行われており、生産者の副収入となっています。

県内では、シマハラン、アオハラン、アサヒハランが栽培されており、最も価格が高いのはシマハランです。

しかし、現場ではシマハランの斑入り葉の収量が著しく低下する青葉化が問題となっており、低労務での対策を検討するため3年間の試験を行いました。



写真1 左からシマハラン、アオハラン、アサヒハラン

環境要因と個体条件による青葉化への影響

シマハランの青葉化には環境要因や個体の条件が影響していると考えられていました。そこで今回は、明るさ、TR率※、植栽密度、植付深さを2水準ずつ設定した試験区を設け新葉の青葉化を調査しました。結果、環境要因と個体条件の違いによって青葉の割合を示す青葉率の差は見られませんでした。

しかし、明るい方または、TR率が低い方が新葉の発生数が多くなっていたため、個体が活性化されたと考えられます。

※TR率…地上部と地下部の重量比率

個体の根茎と葉の形質調査

ハランは地下茎を伸ばして成長しますが、今まで個体ごとの葉の形質を調べた事例は少なかったため、県内20ヶ所で掘取り調査をしました。その結果、斑入り葉と青葉が同じ個体にある割合は、全体の13.3%であり、斑入り葉と青葉の多くが別の個体であることが分かりました。

実生苗による繁殖

現地では、親株の根元に多くの実生苗が見られました。そこで、実生苗の繁殖が青葉率に影響しているのではないかと考え、親株と実生苗の青葉率を調べました。

その結果、親株の青葉率に関わらず、実生苗の青葉率は高く(表1)、実生苗の繁殖が、圃場の青葉率の上昇に寄与していることが示唆されました。

表1 各圃場の親株と実生苗の青葉率
青葉率 (%)

圃場	親株	実生苗
A	30.9	97.3
B	31.3	88.7
C	11.5	90.9
D	52.6	94.3
平均	29.9	93.2

青葉化対策として

今回の試験の結果、青葉率の上昇を防ぐためには、青葉の個体を定期的に除去すること、青葉の実生苗を葉の収穫時に引き抜くことが有効だと考えられます。

また、斑入りの優良個体を選抜し、株分けすることで優良な斑入り葉を増やすことができます。

(農林技術開発センター)

紹介コーナー Le genet. (ル・ジュネ)



大村市の野岳湖畔、クジラ型のバス停を目印に向かいの通りを少し入ったところに Le genet. (ル・ジュネ) はあります。お店に入るとすぐに、ひょうきんな表情の動物を模した竹細工達がお出迎え。思わず笑みがこぼれます。県内約 15 名のハンドメイド作家さんが在籍し、その作品を實際手に取り購入することが出来ます。現在店内には、9 名の方の作品が並んでおり、訪れる人の目を楽しませてくれています。

Le genet. (ル・ジュネ) という店名は、フランス語で「エニシダ」の意味。オーナーの誕生花です。初夏に黄色の花をつけるこの花のイメージ通り、柔らかな自然光が入り込む店内は、ぬくもりとほのかな木の香りに包まれています。こちらのワークショップでは、在籍する作家さんの技を直接教えてもらうことができ、ウッドバーニングや竹細工、木工細工、友禅染など様々な体験を楽しめる場所となっています。大量生産にはない、ひとつひとつ趣の異なる温かな作品に囲まれ、のんびりとお気に入りを見つけてみてはいかがでしょうか。

Le genet. (ル ジュネ)

〒856-0002

住所：長崎県大村市東野岳町 1774

電話：0957-55-1219

営業時間：10:00～17:00 休日：不定休

伊万里木材市況

【ヒノキ】

令和2年8月現在

長さ	径級 cm	等級	高値 (円/㎡)	現在出荷量	現在引合	需要見通
4m	16～18	直	17,700	少ない	多い	普通
	16～18	小曲り	16,800	少ない	多い	普通
	20～22	直	17,200	少ない	多い	普通
	20～22	小曲り	16,200	少ない	多い	普通

【スギ】

令和2年8月現在

長さ	径級 cm	等級	高値 (円/㎡)	現在出荷量	現在引合	需要見通
4m	16～22	直	13,500	少ない	多い	多い
	16～22	小曲り	12,000	少ない	多い	多い
	24～26	直	13,500	少ない	多い	多い
	24～26	小曲り	12,000	少ない	多い	多い

※情報・お問い合わせは、伊万里木材市場 電話 0955-20-2183 まで

長崎の山：風観岳236.2m（諫早市）



国道 34 号側からの風観岳

諫早市と大村市の境界にある風観岳^{ふうかんだけ}を紹介しします。風観岳は標高 236.2m で国土地理院の地図では「風観岳」の名で記載されていますが、「日野見岳」と呼ばれることもあるそうです。山頂からは約 300m の傾斜のないなだらかな尾根があり、その周囲は適正に間伐されたヒノキ林が広がり、林内にはほどよく光が差し込んでいます。山頂から北東側のヒノキ林は大渡野生産森林組合が管理しており、現在も組合員で間伐や遊歩道の整備を行っています。今回はその大渡野生産森林組合の林さんと清水さんに同行していただき、風観岳にまつわるお話をお聞きしました。

風観岳山頂には広場があり両氏が子供の頃ボール投げをやっていたとか。遠足の広場としても地元の人に親しまれていた山だったそうです。現在はヒノキも大きく育ち、周囲の景観はありませんが昔はヒノキ林は無く、多良岳や雲仙岳を望むことができたそうです。

また、有明海や大村湾からの海風がとても強く風害に悩まされ、風害から人々を守る目的で山頂には風観音様が祀られました。この風観音様は、現在 28 戸ある藤ノ内集落の皆さんが主体となって管理し、毎年 4 月にお祭りが行われています。

風観岳には現在も歴史の足跡が残っており多数の藩境石塚が見ることができます。頂上南西側には旧長崎街道の鈴田峠があります。旧長崎街道は現在の北九州市小倉北区と長崎市を結ぶために江戸時代に整備された脇街道で、シーボルトもこの道を通ったと言

われています。鈴田峠には大村市と諫早市の境界にある藩境の巨石があり、地元では「弁慶の足跡石」と呼ばれていたそうで、説明版には「硯石」と記載されていました。

この弁慶の足跡石を挟んで諫早市側が「日野峠」、大村市側が「鈴田峠」と言うそうで藩の境界だったことが伺えます。鈴田峠側の大村街道は、当時の様子が残っていることから昭和 52 年に市指定史跡に指定、平成 8 年には文化省の「歴史の道 100 選」に選ばれています。

森林ボランティア団体である NPO 法人長崎街道松並復元会は県内の旧長崎街道沿いにクロマツの植栽やその周囲の雑草木の刈払い・除伐活動を行い、松並木を復元しようと活動しており、この鈴田峠付近にも、5、6m ほどに育ったクロマツが見られました。

大渡野生産森林組合は地元住民や多くの人が風観岳を訪れること、そして後世に残すことを目的にこの山を守り続けています。

風観岳は、歴史の足跡が今なお残る山です。一度訪れてみてはいかがでしょうか。



(左) 藩境の巨石「弁慶の足跡石」

(右) 「風観岳」の名前の由来とされる風観音様

(NPO 法人地域循環研究所)

長崎の林業 9月号 第 779 号

編集・発行 長崎県林政課

住所：長崎県長崎市尾上町 3 番 1 号

電話：095-895-2988

ファクシミリ：095-895-2596

メールアドレス：

s07090@pref.nagasaki.lg.jp